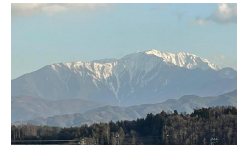


ああ 遠くの空は 晴れている



NO10

南箕輪村教育委員会

南箕輪村の教育大綱（R8～R12）を紹介します。（その2）

Q&A方式で内容を伝えていきます。今回は3回シリーズの第2回です。

Q1 「めざす子どもの姿」について、もう少し詳しく説明してください。

A1 それぞれの言葉に込めた願いを説明します。

「幅広い知識・技能」と
「柔軟な思考力」を身につけ
「思いやりとたのもしさ」を
もって、自分らしく歩み続ける。

学力としての3要素（資質・能力の3つの柱

「知識・技能」の確実な習得と、
「思考力・判断力・表現力」の育成、
「学びに向かう力、人間性」の伸長
に対応した表記としました。

リベラルアーツの「幅広い知識」と「思考力の
育成（やわらかな知性）」にも合致します。

○たのもしさ・・・司馬遼太郎の書いた
「21世紀に生きる君たちへ」から
鎌倉時代の武士たちは「たのもしさ」
ということを、たいせつにしてきた。
人間は、いつの時代でもたのもしき人
格を持たねばならない。人間というの
は、男女とも、たのもしくない人格に魅
れを感じないのである。もう一度繰り返
そう。さきに私は自己を確立せよ、と言
った。自分に厳しく、相手にはやさしく、
とも言った。それらを訓練することで、
自己が確立されていくのである。
そして、「たのもしき君たち」になっ
ていくのである。

「自分らしく歩み続ける」

西田幾多郎の次の言葉の意を込めて

人は人 吾は吾なり とにかくに 吾行く道を 吾は行くなり

○柔軟な思考力とは、

1つの考え方や視点に固執せず、状況や相手に応じて多角的に物事を捉え、新しいアイデアや解決策を生み出せる能力です。固定観念にとらわれず、多様な選択肢を考えたり、他者の意見を柔軟に取り入れたりすることで、変化に強く、創造的な対応が可能になります。

○柔軟な思考力の主な特徴

- ・多角的な視点・・・1つの問題に対して複数の角度から分析し、解決策を考えられる。
- ・固定観念からの脱却・・・「こうあるべき」という思い込みにとらわれず、新しい発想を生み出せる。
- ・変化への対応・・・新しい環境や予期せぬ事態に対しても、考え方を変えて臨機応変に対応できる。
- ・他者の意見の変容・・・異なる意見や立場を排除せず、自分の中に取り入れ、融合させることができる。
- ・前向きな姿勢・・・困難な状況でもそれを成長の糧と捉え、ポジティブに乗り越えようとする。

Q2 「温かい学級」のイメージと、担任の先生方に望むことはどんなことでしょうか。

A2 温かい学級のイメージは、大きなおでん鍋のように、いろいろな食材がお互いの味を出したり吸収したりして、全体として1つの豊かな味わいを創り出しているそんな学級です。そのためには、お互いが凸凹した存在であることを認め合い、違いを受け入れながら、他者理解していく、そんな気持ちを日々の授業や学習活動を通して醸成していくことが肝要と考えます。そんな温かいクラスを目指したいと思います。

各担任には、スーツケースの型にはまった自分の考え方を押し付けたり、その中に子どもを押しこめようとするのではなく、心の風呂敷を大きく広げて、多様なタイプの子どもたちを包み込んでいく、人間味あふれる教師力をもってほしいと願います。

Q3 子育て相談の中身について教えてください。

A3 こども館の中に、こども相談室があります。保・小・中の教育相談員、保健師・社会福祉士・公認心理師が常駐しています。子育ての問題・子育て支援に関する内容について具体的に対応をしていきます。学校や各種関係機関とも連携をして丁寧で温かい相談事業の展開に努めます。

（電話 76-4110）

Q4 教育大綱についての、次週はどんな説明があるのですか？

その3：非認知力を育む活動、「自炊力」を高め
ていく食育の推進について